

令和8年度 予算

※端数処理のため、合計が合わないことがあります

総括

令和8年度一般会計

289億4,100万円

前年度比9億2,400万円増

歳入 税金や国等からの交付金、寄附金など、市が今年度使えるお金

個人所得の増加や、企業の設備投資により、市税の増加を見込んでいます。また、ふるさと納税の寄附金についても、積極的なPRや新たな返礼品の創出等に取り組みます。

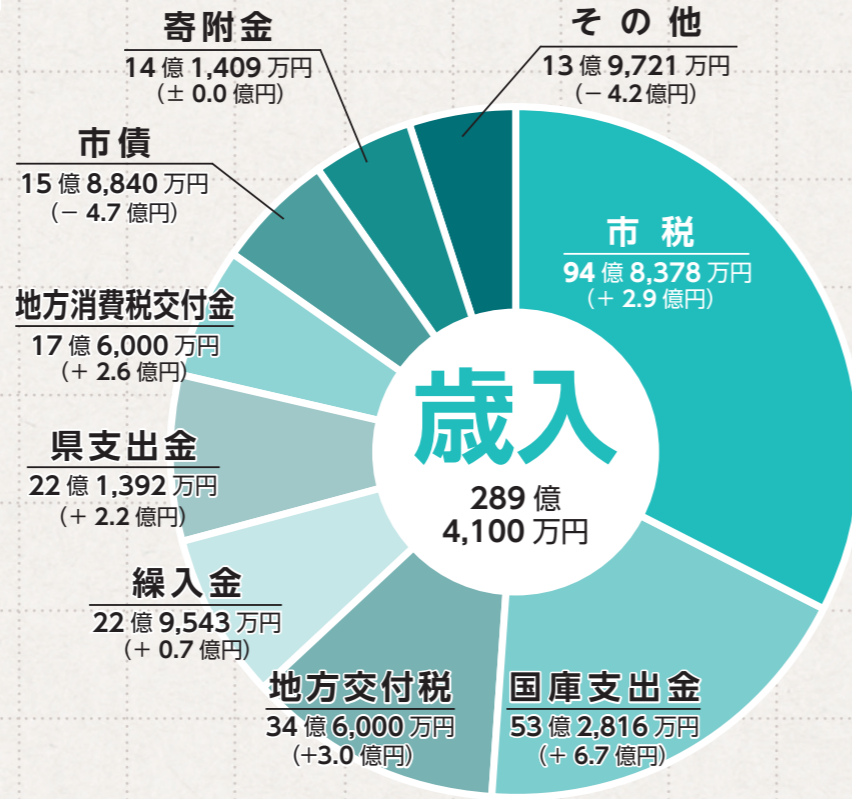
歳出 年度が始まる前に、お金の使い道を計画し、市議会で審議・議決して決定

扶助費等の社会保障関係経費の増加をはじめとして、公共施設の老朽化や公共施設マネジメント計画の実施に伴う、施設の改修や再編事業に多額の経費を要しています。

令和8年度当初予算についてお知らせします。今年度、どれだけのお金をもとに、何にどのくらい使う予定なのか。その概要をご覧ください。

財政課財政担当 (☎ 594-5512)

※ () 内は前年度比



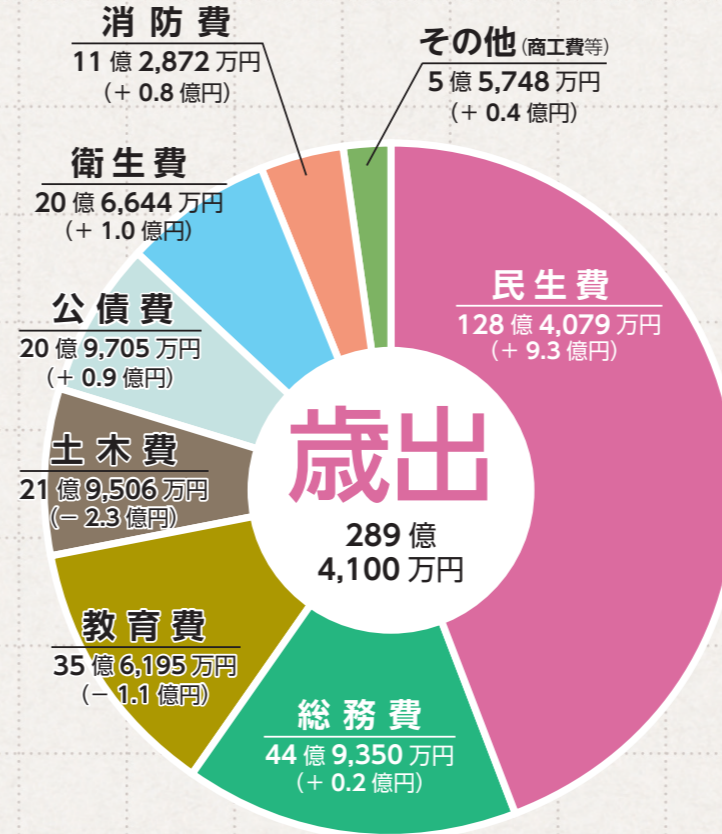
市税…市民税、固定資産税、軽自動車税等
 国庫支出金…特定の目的を達成するために国から市へ交付
 地方交付税…市の財政状況に応じて国から配分
 繰入金…各種基金(貯金)から一般会計へ繰り入れるお金
 県支出金…特定の目的を達成するために県から市へ交付
 地方消費税交付金…地方消費税の一部。人口等に応じて県から市へ交付
 市債…事業を行うために市が国や銀行等から借り入れるお金
 寄附金…ふるさと納税等、個人や法人からの寄附金

予算の詳細は市ホームページへ

予算の内容の詳細はこちら▶ 

予算編成の過程はこちら▶ 

※市役所や公民館に置いてある予算書でも確認いただけます



民生費…障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援のための経費
 総務費…情報システム、徴税、選挙、財務事務等の経費
 教育費…学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費
 土木費…道路、橋、河川、公園の整備、維持管理等まちづくりのための経費
 公債費…建設事業等を行うために借り入れたお金を返済するための経費
 衛生費…健康で衛生的な生活環境を保つための経費
 消防費…市民の安全を守る消防・防災活動のための経費
 商工費…商工業や観光の振興のための経費

令和8年度予算 3つの基本方針

- 1 安心安全な都市基盤整備の推進**
 - 市民の安心安全な生活基盤を充実させるため、**石戸下踏切関連道路改良事業**を実施 **土木費**
 - 道路の陥没事故を未然に防ぐため、**路面下空洞調査**を実施 **土木費**
 - 北本駅東口駅前広場内にシェルター**を整備 **土木費**
 - 実証実験として**デマンドバスを1台増車**し、5台体制で運行 **総務費**
- 2 魅力あるまちづくりの推進**
 - 地域共生社会の実現に向け、**リンクワーカー**を増員配置 **民生費**
 - 定住促進および交流人口・関係人口の獲得を図るため、**シティプロモーション事業**を実施 **総務費**
 - ゼロカーボンシティの実現に向けた環境に配慮した取組として、**小学校照明設備LED化**事業を実施 **教育費**
- 3 持続可能なまちづくりの推進**
 - 公共施設マネジメントに関連する事業として、**東小学校給食室の改築工事**を実施 **教育費**
 - 公共施設の集約・複合化のため、**健康増進センターの解体工事、旧勤労福祉センターの売却**を実施 **民生費** **総務費**

各事業の詳細は次ページへ



家計に例えると

令和8年度予算を
月収30万円の家計に変換

市税や寄附金、諸収入は家計でいうところの「給与」にあたります。支出のもっとも多くを占めるのが、家計の医療・教育費・保険料にあたる扶助費や補助費等です。

収入 (前年度比・万円)		支出 (前年度比・万円)	
給与(市税、寄附金、諸収入等)	11.9万円 (-0.6)	医療、教育費、保険料(扶助費や補助費等)	12.0万円 (+0.9)
親からの仕送り(地方交付税、国庫支出金等)	13.9万円 (+1.2)	食費(給与等の人件費)	4.7万円 (±0.0)
預金の取り崩し(繰入金)	2.4万円 (±0.0)	光熱水費、通信料(物件費)	5.8万円 (-0.5)
銀行からの借入れ	1.6万円 (-0.6)	家の修繕(普通建設事業費等)	2.2万円 (-0.5)
前月からの持ち越し(繰越金)	0.2万円 (±0.0)	ローンの返済(公債費)	2.2万円 (+0.1)
		子どもへの仕送り(特別会計への繰出金)	2.1万円 (±0.0)
		預金(積立金)	1.0万円 (±0.0)
収入合計	30.0万円	支出合計	30.0万円

北本市総合振興計画の新たなスタート



令和8年度は、第六次北本市総合振興計画の初年度です。新たなスタートラインに立ち、将来都市像である「緑にかこまれた健康な文化都市」の実現に向けて、各政策を計画的に取り組んでいきます。本年は、本市の強みである地域資源を活かした持続可能なまちづくりを推進するため、「安心安全な都市基盤整備の推進」「魅力あるまちづくりの推進」「持続可能なまちづくりの推進」の3つの方針を重点に予算を編成しました。

また、北本駅東口駅前広場では、乗降空間としての機能だけでなく、歩行者にとっての快適な

空間を創出し利便性を向上させるため、シェルターを整備します。さらに、定住促進および交流人口・関係人口の獲得を図るため、シティプロモーション事業を実施します。

加えて、物価高騰対策事業として、小・中学校の給食費および水道基本料金(4か月分)を無償化し、市内の取扱店舗で使用できる地域商品券(市民1人あたり5,000円分)を全市民に送付します。

引き続き、本市の魅力を活かした持続可能なまちづくりを進めていきますので、今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。